

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年5月20日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部経営学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: テンプル大学 現地言語: 英語
留学期間	2018年8月～2019年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年5月18日
明治大学卒業予定年	2020年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:8 月下旬～12 月下旬 2 学期:1 月上旬～5 月上旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約4万人
創立年	1884

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	円	交換留学だったので
宿舍費	約10,000	110万円	Temple Towers という寮
食費	3,600	40万円	
図書費	300	3万円	
学用品費	0	0円	
教養娯楽費	1000	10万円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	900	10万円	形態: 明治大学の保険を使用
渡航旅費	2450	27万円	
雑費	1000	11万円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>\$19250</b>	<b>211万円</b>	

## 渡航関連

渡航経路: 行き: 日本→シカゴ→フィラデルフィア  
 帰り: フィラデルフィア→ロサンゼルス→日本

## 渡航費用

チケットの種類	ANA
往路	18240
復路	18240
合計	36480 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

明大サポート

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 6)

3) 住居を探した方法:

大学の斡旋

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

常に周りに人がいるので、英語力は確実に伸びますが、プライバシーが全くないためストレスが溜まります。英会話を伸ばす以外にメリットはあまりないと思います。個人的には大学寮の個室推奨です。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった  
 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

特に問題はありませんでしたが、相談窓口はあります。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

犯罪に巻き込まれたことはありません。町内で犯罪が起これば大学からメールにて即座に警告されます。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の wi-fi は動画を観るには十分な強さでした。また大学内はいたるところに wi-fi があります。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本から持っていった VISA を使用

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

なし

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

## 卒業後の進路について

## 1) 進路

就職    進学    未定    その他:

## 2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は1年遅らせて就職活動をするので参考にならないかもしれませんが、一部の企業では選考に直結する夏のインターンの応募締め切りは大体5、6月なので、帰国後直ちに就職活動を始めることをお勧めします。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
22 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Financial Accounting	財務会計
科目設置学部・研究科	Fox school
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が1回
担当教授	Lu Lu
授業内容	アメリカの会計基準での財務会計について学びます。
試験・課題など	試験は中間、期末の2回、課題はリーディングとホームワーク、CMQ(毎週自分で行う小テスト)
感想を自由記入	難易度が適切で、アメリカの会計基準で財務会計を学んでみたいなら履修すべき科目です。また教授も非常に親切で、効率的に学習を進めることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Survey of Accounting		会計学入門	
科目設置学部・研究科	Fox school		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Dr. Christian E. Wurst Jr		
授業内容	財務会計と管理会計を同時に別の視点で学習する授業です。		
試験・課題など	試験は中間、期末の 2 回、課題はリーディングとホームワーク、CMQ、ICE(予習した後の確認クイズ)		
感想を自由記入	財務会計と管理会計との学習範囲が被っているため、どちらも履修する予定なら受けなくても良いでしょう。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Asian Behavior & Thought		アジアの態度と思想	
科目設置学部・研究科	Religion		
履修期間	秋学期		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回		
担当教授	Shahid Nigro		
授業内容	アジアの宗教観について学ぶ授業です。		
試験・課題など	試験は毎週の小テストのみですが、毎週エッセイを課されます		
感想を自由記入	会計学の息抜きにと思って履修した授業でしたが、正直この授業が一番大変でした。writing intensive と書いてある授業はエッセイを多く課されるので、興味のある分野に絞ると良いです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
English 711		英語ライティング	
科目設置学部・研究科			
履修期間	秋学期		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回		
担当教授	Dr. Sook Kim		
授業内容	英語のエッセイの書き方についての授業。授業内でも発言を求められることが多々あり、2 セメスター留学する人は前半に履修するのがお勧めです。		
試験・課題など	2 回の簡単な試験と 4 回のエッセイの提出		
感想を自由記入	この授業をとったおかげでかなり英語の writing が向上しました。また教授がとても面倒見のいい方なので、おすすめです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cost Accounting	原価計算
科目設置学部・研究科	Fox school
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	Vinesh Mathew
授業内容	財務会計の知識をもとにして、アメリカの会計基準で原価計算を学びます。
試験・課題など	この授業では課題の成績比率が高かったため、かなり宿題が大変でした。対して試験は 2 回ありますが、課題を普通にこなしていれば問題ないです。
感想を自由記入	慣れるまで課題を終わらせるのにとっても時間がかかるので、秋学期一苦戦しました。試験自体は課題での基本問題しか出題されなかったので救われました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Leadership and Organizational Management	リーダーシップと組織間理
科目設置学部・研究科	Fox school
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義携帯(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	YJ Kim
授業内容	毎授業でグループワークがあり、その中でリーダーシップと組織管理を学びます。
試験・課題など	課題自体は少ないですが、学期末にプレゼン課題があり、授業外でもグループメンバーと課題にとりくむ必要があります。試験は 3 回あります。
感想を自由記入	経営学は一通り明治大学で学びましたが、この授業のグループワークを通してその知識を実践できました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Managerial Accounting	管理会計
科目設置学部・研究科	Fox school
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	Dr. Dmitri Byzalov
授業内容	教授のパワポを通して管理会計を学びます。主に CVP 計算や予算差異分析などを行います。
試験・課題など	課題は毎週宿題が課されますが、原価計算に比べると量は少ないです。試験は中間期末の 2 回ですが、それ以外にも 5 回小テストがありました。他の授業とは別にテキストが無く、パワポで全て網羅しているので復習を効率的に行えます。
感想を自由記入	教授の英語に強いアクセントがあるので慣れるまで聞き取るのが大変かもしれませんが、ただ質問への対応はとても丁寧なので、留学生でも安心して履修できると思います。また課題の量が少ないので、他の授業との課題量も兼ねい 1 週間のバランスを取りやすいと思います。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	留学に向けて情報收拾開始
4月～7月	英語学習
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	交換留学選考
2018年 1月～3月	英語学習
4月～7月	留学準備
8月～9月	秋学期前半
10月～12月	秋学期後半
2019年 1月～3月	春学期前半
4月～7月	春学期後半、帰国
8月～9月	就職活動(予定)
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	留学を志望した理由は将来のキャリアを形成する上で必要なスキルが、留学によって効率的に養われると感じたからです。具体的には明治大学経営学部で様々な授業を受けた結果、会計の知識をさらに深めたいと感じ、また英語への興味も相まって外資系企業、海外で就業することに強く魅力を感じました。そのためには、グローバルに通用する専門性の高い会計知識、そして英語コミュニケーション能力が必要と考え、今回の留学を志望しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	いうまでもないですが英語力だと思います。特にボキャブラリーは重要だと思います。私の英語力も reading, listening, speaking、と全体的には大きく向上しましたが、語彙が少ないが故に会話に躓くことがしばしばありました。また、留学前に就職活動をどのようにすすめるのかという計画をあらかじめ立てておくことが重要です。私は1年就職活動を遅らせるので、あまり考えておらず、まわりの同級生が急に就活を始めた時は、焦りであまり勉強に身を入れることができませんでした。1年遅らせる場合でもある程度情報収集を行なっておくことは重要です。
この留学先を選んだ理由	まず、テンプル大学はジャパンキャンパスがあり、日本との接点が他の大学に比べて多く、馴染み易いのではないかと感じたため、テンプル大学に決めました。実際その傾向は顕著で私の友人の何人かは日本への留学経験をしたことがある、もしくはする予定とのことで、留学後も友人関係が継続できることもこの大学ならではの理由ではないかと思っています。また、フィラデルフィアは日本人が少なく、英語学習に集中でき、さらにはニューヨークにも車で90分の距離に位置しているというのも理由の一つです。
大学・学生の雰囲気	大学の雰囲気については、かなり盛り上がっているなという印象を受けました。イベントが毎週のように開催されており、特に留学生は参加を促されることが多いので、消極的な学生でも積極的にならざるを得ないような環境でした。また学生自身もほとんどはイベントに積極的で、これまであまり大学のイベントには参加してこなかった私には新鮮でした。さらにほとんどの学生はリベラルで、日本から来たことに対しポジティブな印象を受けようとして、友人を作るのは他の大学に比べて簡単なのではないかと思っています。
寮の雰囲気	寮では、もちろんイベントが行われていましたが、参加するメンバーはいつも同じで、インドア派とアウトドア派がはっきりと別れている印象を受けました。それ故にしばしばトラブルがあるみたいです。しかし、RA(ルームアシスタント)が非常に親切で些細なことでも相談に乗ってくれるので、問題が発生しても直ちに解決できると思います。また寮(Temple Towers)では留学生と国際交流に興味を持った学生が同じ部屋で生活するシステムだったのですが、十中八九みな同じ人種の生徒としか交流していない印象を受けました。
交友関係	留学して最初の1、2ヶ月は全く話すことができなかったので、多少苦勞しましたが、ジャパンキャンパスがあるだけあって、ほとんどの生徒は日本に興味を持ってくれるので友人を作るのは容易でした。特に仲良くなった友人はテンプルジャパンキャンパスに2年間留学してただけあって、簡単に打ち解けられました。さらに、学内で行われるイベントに積極的に参加していれば、自ずと他国からの留学生を中心に交友関係は広がっていくと思います。
困ったこと、大変だったこと	最初の1ヶ月は環境に慣れるのに苦勞しました。特に最初の1週間は慣れない英語での留学生ガイダンスや、初回授業での説明などでかなり神経を使いました。長期留学の場合、留学を始めてから大体3ヶ月でリスニングが上達してくると言われているので、最初は生活に慣れ、人間関係を築く事に集中する事をお勧めします。そして、慣れてさえしてしまえば、後は特に苦勞することなく留学生活を送れると思います。人間関係にさえ気を付ければですが。

学習内容・勉強について	<p>学習面については、予想以上に簡単だと感じました。と言うのも、テンプル大学の学生は大学受験に向けて勉強して来ている為、授業の難易度自体は易しいと感じました。しかし、3000 番代以上の授業は専門性が高いため、難しいかもしれません。さらに上級の授業を履修する為には、その授業の下位の授業を履修(もしくは、明治大学で履修)しないといけない為、予め受講したい授業を決めておき、その授業を履修するための条件を早めに調べておく方が良いと思います。</p>
課題・試験について	<p>私は主に会計の授業を中心に履修してたので、エッセイの課題はあまり多くはありませんでした。ただ、毎週 1 授業につき約 30 ページのリーディング課題、宿題、小テストが課され、慣れるまでは大変でした。</p> <p>試験に関しては、私の場合は大体の授業がマークシート制だった為、英語で不利を被った事は有りませんでした。また、アメリカでは殆どの教授は英語が苦手な生徒の事を理解しているので、文法などの間違いは大目に見てくれます</p>
大学外の活動について	<p>私自身大学外の活動にあまり参加していないので、何とも言えませんが、テンプル大学の場合、留学生として入学が決まり次第、LLC という国際コミュニケーションに関するサークルに入るかどうかのメールが届きます。そこでは、ほぼ毎週のようにイベントが行われていたので、大学外の活動に参加する機会が多いです。また、キャンパス内の寮に住む場合、大学へのアクセスが非常に良いため、深夜まで安心して大学外の活動に参加できると思います。</p>
留学を志す人へ	<p>まず、留学の書類準備はやる事が多く、とても大変だと思いますが、できるだけ前倒しで準備を進めることをお勧めします。</p> <p>またテンプル大学では、日本校があるせいか日本に興味を持つ学生が多いです。そのため日本の事についていろいろ聞かれる機会が多々あり、日本文化について、英語でスムーズに話せる事が望ましいと思います。</p> <p>最後に長期留学は旅行と違い、現地で"生活する"必要があり、留学前に決めた目標を見失わないように心がけることが重要かと思います。</p>



## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業準備	授業準備	授業準備	授業準備	課題	課題もしくは交流活動	課題もしくは交流活動
	授業準備	授業	授業準備	授業	課題	課題もしくは交流活動	課題もしくは交流活動
午後	授業準備	授業準備	授業準備	授業準備	課題	課題もしくは交流活動	課題もしくは交流活動
	授業	授業	授業	授業	自由時間	課題もしくは交流活動	課題もしくは交流活動
夕刻	ルームメイトとご飯	ルームメイトとご飯	ルームメイトとご飯	ルームメイトとご飯	ルームメイトとご飯	ルームメイトとご飯	ルームメイトとご飯
夜	課題	課題	課題	課題	課題	自由時間	課題